



IE・原価知識から生産革新の実践的な進め方

『生産技術スタッフの役割と基本知識』



日 時 2026年 6月 9日(火) 10:00~17:00

会 場 東京・平河町近辺の会議室 または オンライン

講 師 (株)MEマネジメントサービス 代表取締役
マネジメントコンサルタント 添田 英敬 氏

演習用に
WindowsPC
の準備を
お願いします



独立系システムインテグレーター、会計事務所勤務後、日本インダストリアル・エンジニアリング協会(日本生産性本部)入職。生産技術スタッフ向け研修会、現場実習などの企画・運営、現場指導補助などを経験。その後、株式会社MEマネジメントサービス入社。社内外研修講師を務めるほか、電機、自動車、医薬品、素材メーカーなど、国内外でコンサルティング業務を行う。原価管理、原価低減を軸に生産管理、現場改善、現場管理(自動化、デジタル化、スマート化含む)などの基本的なしくみづくりから、システム導入、成果創出の運用まで一気通貫型の支援を得意とする。共著に『既存工場、製造現場への生成AI/AI導入と活用の仕方』技術情報協会がある。

変化の時代に対応できる生産技術スタッフ育成

生産革新を進めるにあたって、生産技術スタッフの役割は極めて大きく、生産技術スタッフの力量により、革新活動が成功するかしないかが、大きく左右されるのです。

人から設備への依存度が増す、今日のモノ作りは、生産技術者が単なる設備屋ではなく、人・モノ・金・情報の経営資源を効率よく活用し、生産活動のQDCに貢献することによって、全体最適のための経営視点が期待されています。そのためには、生産技術スタッフには、固有技術力より、むしろ管理改善技術力、工程設計技術力、設計と製造との連携形成力が求められます。

本セミナーでは、生産技術スタッフの役割を明確にした演習を行い、変化の時代に対応できる人材を育成します。

プログラム

第1章 生産技術者に必要なIEと原価知識

－全体最適のための経営視点－

- 1-1 生産技術者の組織上の役割とスキル
- 1-2 生産技術者の業績向上に果たす役割 ■コア技術
- 1-3 労働生産性向上に寄与しない設備投資
- 1-4 最適生産をデザインするIE技術
- 1-5 生産技術力をコストで見える化する ■原価計算演習

第2章 最適生産方式を追求するモノづくりの役割 －生産技術力で業績に貢献－

- 2-1 最適工程設備は加工点設計から ■設備効率問題
- 2-2 基本機能で作業・工程をつなぐ ■ロボット作業の改善
- 2-3 自動化は数量の多い対象から
- 2-4 人と設備はゼロサムが分岐点 ■省人化限度額の計算

第3章 人が支える自動化モノ作りの役割

－使いやすい生産システムを提供－

- 3-1 人の能力の限界を設備に託す
- 3-2 人と設備の共創から自律を演出
- 3-3 人にやさしい自動化の推進 ■人と設備の特性問題
- 3-4 製造のKPI向上に貢献 ■工数・設備効率の一体測定

第4章 多様化に対応する柔軟なモノ作りの役割

－デジタルで繋がるスマート工場－

- 4-1 管理しやすい製造方式
- 4-2 標準化で設計部門と連携強化 ■自動化の優先順序決定
- 4-3 マス・カスタム生産を目指す
- 4-4 顧客と繋がるスマート工場に向けて ■デジタル・マニュファクチャリング
- 4-5 生産技術者のスキルアップ

受講料

※ 1名様につき 税込み・テキスト代込み

日本ならびに 他地区IE協会会員	日本生産性本部 賛助会員	一般
39,600円	46,200円	52,800円

申込方法

ホームページからお申込みください。 <https://www.j-ie.com/seminar>



日本インダストリアル・エンジニアリング協会
〒102-8643 東京都千代田区平河町2-13-12
TEL 03-3511-4062 FAX 03-3511-4069
E-mail jiee@j-ie.com <https://www.j-ie.com/>

担当
西村